

1. 科目名 (単位数)	肢体不自由者の心理・生理・病理 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2451 SNMP2451 SCMP2451 SBMP2451 SSMP2351
2. 授業担当教員	八重樫幸雄			
4. 授業形態	講義、演習 (グループディスカッション)	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	特になし			
7. 講義概要	<p>本科目では、脳性まひに代表される脳性疾患と、進行性筋ジストロフィー症に代表される神経・筋疾患や骨・関節疾患、形態異常や外傷性後遺症に関する心理・病理・生理を学ぶ。医療面での規制が長期化することもあり、日常生活でも、家族や医療機関との連携を図り、まず、身体上・健康上の環境要因を整える知識・技術について学ぶ。また、一人ひとりに合わせて支援器具をうまく活用し、住宅環境や教育環境の改善をはかる点についても理解する。</p> <p>このことにより、肢体に障害のある人の「生活の質の向上」や効果的な支援に結びつける。</p>			
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。</p> <p>① 肢体不自由児の起因や疾患などについての基礎知識  ② 肢体不自由児者や家族に関わる教師としての役割や教育内容  ③ 肢体不自由児者をとりまく地域行政や支援</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>・アサイメント 事前学習、事後学習で取り組んだ内容を記述する。</p> <p>・レポート課題 肢体不自由の障害を一つとりあげ、その障害についての心理・生理・病理の視点から1600字でまとめる。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】篠田達明監修『肢体不自由児の医療・療育・教育 改訂3版』金芳堂、2010</p> <p>【参考書】 竹田一則著『肢体不自由児・病弱児教育のためのやさしい医学・生理学』ジヤース教育新社、2019</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 肢体不自由の心理・生理・病理に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。  2. 肢体不自由者への支援を行ううえでのニーズを説明でき、主体的に他と協調しながら具体的に対処できるようになっているか。</p> <p>○評定の方法  以下を総合的に検討し、判断する。</p> <p>1 授業への積極的参加 (発言、討議、態度、グループワークへの貢献、シートの取り組み等) 総合点の40%  2 レポート (模擬授業、テストを含む) 総合点の60%  *なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>・医療に関する専門用語が多く、覚えなければならない知識も多いため復習を心がける。  ・積極的に意欲的な授業への参加を期待する。</p>			
13. オフィスアワー	講義開始前後の休憩時間			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	イントロダクション:本講義を進行する上での約束ごと	事前学習	受講に際し「シラバス」を理解しておく。	
		事後学習	シラバスや授業の進め方」について合意したことを確認・意識付けをする。	
第2回	肢体不自由とは	事前学習	肢体不自由について説明できるようにしておく。	
		事後学習	障害や肢体不自由とは何か説明することができるようにし、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする。	
第3回	肢体不自由の理解:障害の概念と病理	事前学習	障害の概念と病理について調べ、説明できるようにしておく。	
		事後学習	障害の概念と病理について説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする。	
第4回	脳性まひについて①原因と障害型	事前学習	脳性まひについて説明できるようにしておく。	
		事後学習	脳性まひの定義と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする。	
第5回	脳性まひについて②治療	事前学習	脳性まひの治療について説明できるようにしておく。	
		事後学習	脳性まひの訓練について説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする。	
第6回	二分脊椎について	事前学習	二分脊椎について説明できるようにしておく。	
		事後学習	二分脊椎の定義と原因などについて説明す	

			ることができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする。
第7回	筋ジストロフィーについて	事前学習	筋ジストロフィーについて説明できるようにしておく。
		事後学習	筋ジストロフィーの定義と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第8回	ペルテス病	事前学習	ペルテス病について説明できるようにしておく。
		事後学習	ペルテス病の定義と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第9回	骨系統疾患	事前学習	骨系統疾患について説明できるようにしておく。
		事後学習	骨系統疾患の内容と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第10回	手足の先天奇形	事前学習	手足の先天奇形について説明できるようにしておく。
		事後学習	手足の先天奇形の内容と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第11回	先天性多発性関節拘縮症	事前学習	先天性多発性関節拘縮症について説明できるようにしておく。
		事後学習	先天性多発性関節拘縮症の定義と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第12回	先天性股関節脱臼	事前学習	先天性股関節脱臼について説明できるようにしておく。
		事後学習	先天性股関節脱臼の定義と原因などについて説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第13回	肢体不自由児者の生理・心理：思春期の理解	事前学習	思春期とは何か、自身の経験から振り返り、その意味を考えて説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由児者の思春期の理解について説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第14回	肢体不自由児者の生活・家族生活	事前学習	子どもの頃の自分と肢体不自由児者の生活・家族生活を比較して、その違いを説明できるようにしておく。
		事後学習	肢体不自由児者の生活・家族生活について説明することができるように、ノートなどにまとめ、力試しテストの準備をする
第15回	まとめ：肢体不自由児教育に向けて	事前学習	これまでの授業を振り返り、肢体不自由児の教育についての考えを説明できるようにしておく。
		事後学習	心理・生理・病理を学ぶ意義や肢体不自由の具体的な障害についてまとめ、レポートの作成をする。
期末試験			